

田辺工業高等学校

実施日時	令和2年12月17日(木)
参加者	生徒148名、教職員15名、地域住民等0名 計163名
実施内容	防災講演、救命救急、炊き出し訓練、救命器具教育、ロープワーク等

ねらい

- 1 災害発生時に生徒達が自らの判断で迅速に避難し、対応できる力を身につけさせる。
また、共助の意識を高め地域に貢献できる防災リーダーの育成を目指す。

主なプログラム

1 防災講演

自衛隊和歌山地方協力本部本部長による講演では災害現場の活動状況の説明、救命救急や復旧活動の経験談、災害時の対処方法の紹介から救命救急の大切さを学んだ。



2 ワークショップ

1) 救命救急

災害時の心肺蘇生方法を学んだ。



2) 炊き出し訓練

アルファーマを用いた炊き出し方法を学んだ。



3) 救命器具教育

救命器具の説明を受ける。



4) ロープワーク

災害時に活用出来るロープの結び方を学んだ。



概要

- 1 打ち合わせ 自衛隊（和歌山地方協力本部田辺地域事務所）と事前打ち合わせ
- 2 事前説明 生徒に向けてホームルームにて事前に内容説明と班分け
- 3 対象者 1 学年生徒および1 学年職員対象に高校生防災スクールを実施

参加者感想文

- ・自衛隊の方から大震災の話を聞いて、訓練などを通して準備が必要だと感じました。
- ・訓練で学んだ事を少しでも活かして、協力できるようになりたいと思った。
- ・地震や津波に備えておくことが大切だと思った。

成果と課題

【成果】

昨年に引き続き、和歌山地方協力本部田辺地域事務所の協力を得て開催することができた。防災スクールを通じて参加した生徒の真剣に取り組む姿を見ることが出来た。地域柄もあるが、その様子から地震や津波に対する意識が高いように見受けられた。今回の防災スクールの内容は有事の際には必ず有意義なものとなる内容であった。

【課題】

昨年の内容と少し異なる訓練を体験できるように工夫したが、更に簡易トイレや段ボール間仕切りなどのテーマを増やし、より多くの内容を学ぶ機会としたい。今後も充実した内容を取り入れ、実際の現場で活躍できる人材の育成に繋げる事を目指す。